



けいせん



2012.2.29

早いもので明日から3月。今年度も残りわずかとなりました。1年間一糸者に
過ぎたお友だち、先生との日々をふり返りつつ、進学・進級に期待をもって
過ぎる毎日です。

年長組は、2月には世界に目を向けて様々な取り組みをしました。世界には
たくさん国があってそれぞれの暮らしがあると、その一人ひとりを神木様が守ってくださる
ことなどを考えながら過ぎました。以前、年長組の子どもたちに「平和って
どんなこと？」と尋ねると、「けんかをしないこと」「戦争をしないこと」「なやますること」
...という声がありました。そして、言話を進めていくうちに、「当たり前のこと気づいて
感謝すること」も大切と学びました。毎日、当たり前前に起きて、服を着て、
ごはんを食べて。家があるのも幼稚園に行くのも当たり前。でもそれが、
当たり前ではない人が世界には、日本にも、たくさんいることを知った時、私たちに
何ができるだろう、と言話し合っていました。

そして、昨年の3月11日以降、私たちに改めて、大切なことは毎日の生活の
中にこそあるということを感じながら、感謝・絆・命...ということをバシバシと
一日一日を送っています。

私たち、子どもたちにできるのは小さなことかもしれませんが、一人ひとりが
与えられている恵みに気づいて感謝をもって過ぎ、とまりの人に挨拶をする、
困っている人がいたら声をかける...こんな小さなことでもみんなできれば、それは
平和をつくり出すことになると思うのです。友だちとの平和、家庭での平和、
まわりの人との平和、そして世界の平和。ちがって考えてみませんか？

今も悲しみの中にある方、困難な生活を強いられている方、不安な毎日を
過ぎる方のあることを覚えます。お一人おひとりの上に神木様のお守りとお導きが
ありますようにお祈り致します。

♪ キリストの平和がわたしたちのこころのすみずみにまでゆきわたりますように
(こどもさんびか 改訂版 34番)